

森林環境の保全と子供たちの環境教育 及び森林とのふれあいの推進

森林ボランティア「蔵王緑の騎士団」

代表 山川 喜市

山形県

1 活動の日程と概要

活動 I

間伐材を利用しキノコの栽培 (植菌作業)

対 象 上山市中川地区の子ども会

親子総勢 25 名

日 時 6 月 4 日 (日) 13 時～ 15 時

会 場 上山市蔵王大森「蔵王緑の騎士団

の森 (小倉フィールド)」

活動内容 ①森と水のはなし

(東北森林管理署:庄司)

②間伐材にドリルで穴を開けキノ

コの種菌をつける

③植菌の終わった原木をホダ場へ

運ぶ

活動 II

間伐材を利用しキノコの栽培 (植菌作業)

対 象 東海大山形高校 2 年生 13 名

日 時 6 月 7 日 (水) 13 時～ 15 時

会 場 上山市蔵王大森「蔵王緑の騎士団

の森 (小倉フィールド)」

活動内容 ①森と水のはなし

(東北森林管理署:庄司)

②間伐材にドリルで穴を開けキノ

コの種菌をつける

③植菌の終わった原木をホダ場へ

運ぶ

活動 III

針葉樹林の整備体験を兼ねた森林整備講習会

対 象 東海大山形高校 2 年生 13 名

日 時 7 月 12 日 (水) 13 時～ 15 時

会 場 山形市西蔵王「蔵王緑の騎士団の

森 (西蔵王フィールド)」

活動内容 ①森林のはなし

(東北森林管理署:庄司)

②手工具による間伐作業

③チェーンソー講習会 (体験)

④刈払い機講習会 (体験)

そ の 他 対象校の活動は山形県の「未来へ
つなぐ森づくりリレー」の一環と
して行なわれた。

活動 IV

針葉樹林の整備体験を兼ねた森林整備講習会

対 象 東海大山形高校 2 年生 13 名

日 時 10 月 11 日 (水) 9 時～ 13 時

会 場 山形市西蔵王「蔵王緑の騎士団の

森 (西蔵王フィールド)」

活動内容 ①森林整備のはなし

(東北森林管理署:庄司)

②手工具による間伐作業

③チェーンソー講習会 (体験)

④刈払い機講習会 (体験)

そ の 他 山形市議会議員の視察があり、関
心を寄せていただいた。

対象の生徒たちは、午後から会場を上山市蔵王マウンテンファームに移して、当ボランティア山川より「森林といのちの学習」に関わる講演。

2 各活動の成果

活動Ⅰ

間伐材を利用しキノコの栽培（植菌作業）6月4日実施 ⇒ 資料Ⅰ

上山市蔵王大森に当ボランティアで活動フィールドとして借用している「蔵王緑の騎士団の森（小倉フィールド）」において地元の小学生を対象に森林環境教育の一環としてキノコの植菌作業を行いました。会員役員で3月末にフィールド調査と間伐・原木の切り出し作業を行い事業に備えました。また対象となった子ども会との調整をすすめ、安全確保も考慮して親子行事の形で実施しました。

作業そのものは、電動ドリルでの原木への穴あけと植菌作業を親子で協力して行ないました。作業の前や休憩時に「森林のはなし」を実施し、大きな水の循環のはなしや、森林利用のはなし、など環境教育的な内容のはなしを行ないました。また葉やスライスした枝を使った、お面づくりやネームプレートづくりも行ないました。

楽しそうに作業に取り組む子どもたちのようすには感心させられ、作業後も「キノコさんどうなっているかなあ〜」と実

際に体験して得た知識が定着し、関心が継続しているようすが伺えました。資料の写真からもそのあたりを汲み取りいただきたいと思います。

活動Ⅱ

間伐材を利用しキノコの栽培（植菌作業）6月7日実施 ⇒ 資料Ⅱ

上山市蔵王大森に当ボランティアで活動フィールドとして借用している「蔵王緑の騎士団の森（小倉フィールド）」において地元の高校生を対象に森林環境教育の一環としてキノコの植菌作業を行いました。

活動Ⅰの地元小学生の体験学習の続きの作業を行なう形で実施されました。作業は小学生の行なった電動ドリルでの穴あけ作業と植菌に加え、倒木済みの木をチェーンソーで玉切りにしたり、原木のホダギのホダ場への運搬も行ないました。小学生同様に「シイタケの匂いがする」などと素直な感想を口にしながら、作業を行なう高校生のようすを資料の写真からも汲み取りいただきたいと思いません。

活動Ⅲ

針葉樹林の整備体験を兼ねた森林整備講習会7月12日実施 ⇒ 資料Ⅲ

山形市蔵王大森に当ボランティアで活動フィールドとして借用している「蔵王緑の騎士団の森（蔵王フィールド）」において地元の高校生13名を対象に森林

整備講習会を実施しました。本年度、山形県の行なった「未来へつなぐ森づくりリレー」の一環としても取り組まれた研修会となりました。対象の高校生はチェーンソーと刈払い機の操作を体験研修しました。また手工具（手ノコ）による下刈・間伐作業を行ないました。暑い夏場の作業であったにも関わらず、対象となった高校生の作業への取り組みは大変良かったと感じられました。森林整備課や当ボランティアなど一般の大人との共同での作業を通じて、少し背伸びをして大人の仲間入りをしたような行動、また地域や環境保全に貢献しているという自信もった行動がみられました。当日のようすは地元 TV のニュースにも取り上げられました。

また、1月22日には「未来へつなぐ森づくりリレー」報告会が県庁で行なわれ、日頃からの活動のようすを県知事へ伝えることができました。東海大山形高校の代表2名も同席し、報告をさせていただきましたところでは。

活動Ⅳ

針葉樹林の整備体験を兼ねた森林整備講習会

10月11日実施 ⇒ 資料Ⅳ

活動Ⅲと同様に山形市西藏王に当ボランティアで活動フィールドとして借用している「蔵王緑の騎士団の森（西藏王フィールド）」において地元の高中生13名を対象に森林整備講習会を実施しました。作業や体験の内容は活動Ⅲと同様で

あったが、高校生の作業に対する慣れと学習がみられました。

当日は山形市議会議員の視察があり、森林整備課など関係部署の担当者と当ボランティアの役員から講習会の説明をさせていただきました。視察いただいた議員からは関心を寄せていただいたと思います。

3 まとめ

現代、私たちの「いのち」を支える「食」や「自然」と私たちの生活との接点に関わる仕事や活動のほとんどは分業化・専門化され、深くものごとについて考えなくても、すむような仕組みになっているように思います。普段、私たちは蛇口から出てくる水道水の「もと」は海水からの水蒸気が雨水となり、めぐりめぐって森林や土壌によって浄化された結果であることや、毎日口にする「食」のものは他の生き物の「いのち」であることを頭では分かっていても実感することは、ほとんどないと思います。

「経験にまさる学習はない」と言います。森林環境学習や森林整備講習会を通じて、小学生や高校生が「自然」や「水」、「森林」や「いのち」に興味関心を示し、楽しみながらも真剣に取り組むようすや反応をみると、この言葉を実感します。教室での「いわゆる学習」以上に経験によって学ぶことは沢山あるように感じます。野外での活動を通じ、天候・におい・木々の感触など沢山の情報と五感をフルに活用しての学びと労働、環境や人々の生活に役に立っているという充実感は、関わった生徒児童の成長につながると思います。高校生の感想からもそのことが伺えると思

ます。

もう一つは教師・生徒という単純な関係ではなく、教師・講師・一般の方・生徒（児童）など年齢構成も含めた複雑な関係の中での学びに大きな教育効果が期待できるのではないかと、という視点であります。少子化の中において、兄弟姉妹も少なく核家族化した中で育てられている児童生徒にとって、兄弟姉妹以外で年齢の離れた人との交流や親・親戚以外の大人との出会いは、それだけでも非常に大きな教育となると思われます。少し先の自分や少し前の自分をまわりとの相対化の中で確認しながらゆっくりと成長をするのが、子どもたちの学びであり成長ではないでしょうか。そういった意味で、現代失われつつある「子ども社会での学び」を意図的に構成することは教育的な意義が充分にあるだろうと考えております。今年度は児童のみ、生徒のみの活動形態となりましたが、

将来的には複合的な総合学習を試みることも考えてみたいと思います。

4 資料(活動の写真や感想など)

資料Ⅰ 間伐材を利用しキノコの栽培（小学生対象）に関するもの

資料Ⅱ 間伐材を利用しキノコの栽培（高校生対象）に関するもの

資料Ⅲ 針葉樹林の整備体験を兼ねた森林整備講習会 に関するもの

資料Ⅳ 針葉樹林の整備体験を兼ねた森林整備講習会 に関するもの

資料Ⅴ 購入備品 に関するもの

資料 I 間伐材を利用しキノコの栽培（小学生対象）に関するもの
開会式



植菌の説明



ドリルの説明



作業 1



作業 3



森のクラフト



集合写真



資料Ⅱ 間伐材を利用しキノコの栽培（高校生対象）に関するもの
ホダギの運搬 1



ホダギの運搬 2



ホダギの運搬 3



作業1



作業2



作業3



資料Ⅲ 針葉樹林の整備体験を兼ねた森林整備講習会 に関するもの
開会セレモニー



蔵王緑の騎士団 団長挨拶



リレー旗授与



刈払い機の講習



チェーンソーの講習 1



手ノコによる森林整備



集合写真



資料IV 針葉樹林の整備体験を兼ねた森林整備講習会 に関するもの
集合写真



山形市議会議員の視察



資料V 購入備品 に関するもの
延長コード・電動ドリル



発電機



参加した高校生の感想

A 君

西蔵王に行って森林活動をしました。緑の騎士団の人達と活動しました。テレビ局の人もいてすこし緊張した。そして森林の必要のない木を切っていました。最初木を切るのに大変だったけどだんだん木を切っていくうちに木を切ることが楽しくなってきてかなり木きりました。そして芝刈り機の順番が回ってきたので芝刈り機をしました。緑の騎士団の人から教えてもらって刈りました。山川牧場で一回やったのですんなりうまくできました。次に休憩が入りお茶を飲んでまた木を切り始めました。大きい木は二人で協力して切りました。途中で足が長いクモがいたので気持ち悪くて切れない木もありました。そしてチェーンソーの順番がきたのでチェーンソーをした。これも緑の騎士団の人から教えてもらってうまくできました。そして木を少し切って終わりました。そしてみんなで記念写真をとって森林のことについての本をみんながもらいました。あと俺の運動着に足の長いクモがいたので驚いて殺しました。もろみがついて汚くなりました。この森林の活動をしてまたいい経験をしたとおもいました。森林を大切にしていきたいと思いました。

B 君

今回は西蔵王に木の伐採に行きました。最初は大木の周りに生えている雑木を切りました。始めは雑木を切るのがもったいないと思いました。しかし、後々に雑木を伐採する意味がわかりました。蔵王には森林や環境を保持するためにあるボランティア団体「緑の騎士団(5、60代のおじさん達)」がいることを知りました。今回はその緑の騎士団にアドバイスをいただきながらお手伝いをさせてもらいました。作業をする上

で、手ノコ、チェーンソー、刈りはらい機を使うときの注意を教えてもらいました。伐採するときには細心の注意が必要だと思いました。また、大木が切り落とされるときはすごい迫力でした。テレビでよく見る光景が実際に見ることができてよかったです。最後には伐採した所には空気が循環し陽の光が差し込みとてもきれいでした。また、森は多くの人と長い年月が必要だと改めて感じました。今回は雑木の伐採を手伝わせてもらい貴重な体験になってよかったです。

C 君

西蔵王の森林に行って木を切りに行きました。私たちの他にもたくさんの人たちがいて、私たちに手ノコやチェーンソー、草刈機の使い方を教えていただきました。親切に教えてもらったのでとてもわかりやすかったです。やっているうちにだんだんとコツをつかんできて少しうまくなったような気がしました。チェーンソーを使うコツはあんまり力をくわえないほうがいいと言っていました。草刈機はあまり早く前に進まないようにして少しずつ進むといいと言っていました。今日の作業は結構楽しくできました。基本的な技術が学べたのでよかったです。テレビ局の人も来ていて私たちが作業をしている姿を撮影していました。とても楽しく作業できてとてもよかったです。

